

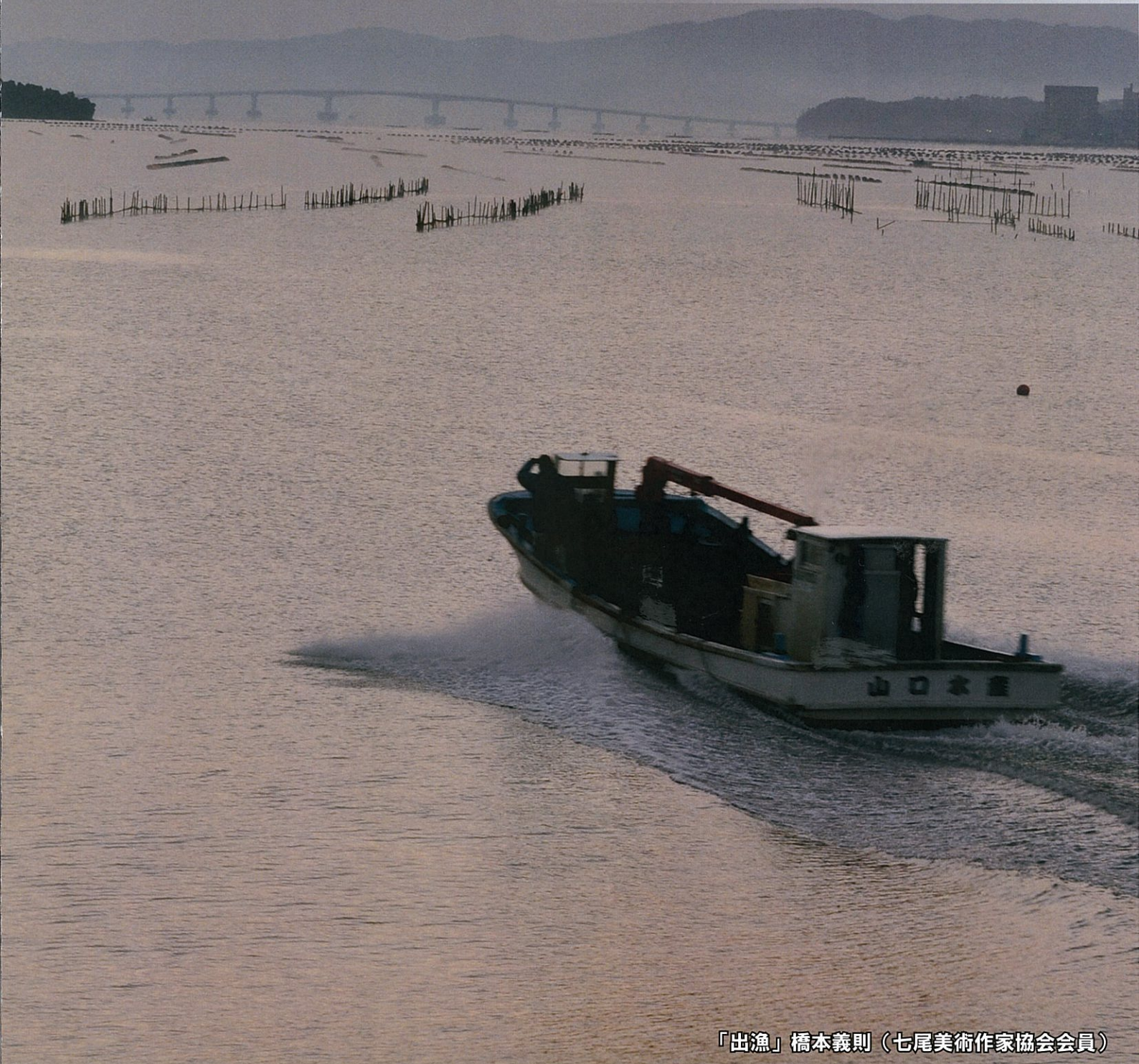
ほほえみ

第30号 2014年5月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



「出漁」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

着任のあいさつ	2
看護課便り	3
能登里山里海定食	4
結核臨床研修会報告	5

着任のあいさつ



総看護師長 井上 淳子

桜の花が見ごろを迎え、本格的な春の訪れを感じる季節となりました。毎朝、七尾病院前のバス停から病院までの坂道を、美しい桜とウグイスの声に励まされながら登っています。

4月1日付けで総看護師長として着任し、今は病院の中で右往左往しながら少しずつ病院のことがわかってきたかなというところです。緊張の中で始まった当院での勤務ですが、とてもアットホームな雰囲気みなさんに助けられている毎日です。

七尾病院はその役割として、結核を含む呼吸器疾患の診断と治療、神経筋難病に対する長期的治療、重症心身障害児（者）の療育を3本柱としています。患者さんの中には年単位におよぶ長期の療養生活を送られている方もあり、看護職員は『ここに寄り添う看護の実践』をモットーとして、他の職種の方々と協力しながら患者さんの生命と生活を支えています。また、高齢の患者さんが多い中、重症心身障害児（者）病棟には先日小学校入学を迎えた患者さんもあり、人生の節目に立ち会いながら看護していることに感慨を覚えました。

広報誌の表紙にも書かれているように、七尾病院には「私達の信条」という5か条があります。一般的には「病院の方針」と表現されていることが多いのですが、この「私達の信条」という表現は、病院職員ひとりひとりが、「私のすべきこと」として考えることができる言葉だと思います。この信条を、絵に描いた餅ではなく全職員が自分の行動として実践でき、継続できることが重要であると思っています。そして、信条の中にある「地域に親しまれる病院」として、地域のみなさまの健康に貢献できるような取り組みも進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



看護課便り

副総看護師長 井上裕子

遠藤関とのエピソード

今年2月に当院の職員が、日本相撲協会主催の『遠藤関のお姫様抱っこ』に1355倍の倍率に当選しました。その際、遠藤関に人工呼吸器を装着しながら病氣と闘い一生懸命頑張っている患者さんたちが、応援していることを伝えたそうです。遠藤関は色紙に‘生きることに必死’と書いてくださり、「僕も頑張りますので、皆さんも頑張ってください」というメッセージをいただきました。病院に戻り、患者さんたちに報告し色紙を見せると、皆さんとても喜んでくださいました。今回、郷土力士である遠藤関と七尾病院の患者さんとの懸け橋になれたことがうれしく、これからも一緒に応援していきたいと話していました。職員自身このような機会を得、患者さんと喜びを分かち合い本当に貴重な経験であったと思います。今後も、当院看護課は、入院患者さんが治療や療養の中で、ほんのひとときでも喜んでいただけるような、いろいろなイベントを企画していきたいと思っています。



結核看護院内認定看護師が新たに2名誕生しました！

当院が担っている政策医療の結核・重症心身障害児（者）・神経筋難病の分野において、質の高い看護サービスの提供をめざし、看護課教育委員会が研修を企画しています。1年をかけて、院内外の研修を修了し、筆記・面接試験を経て審査の結果、新たに2名が結核看護院内認定看護師試験に優秀な成績で合格しました。3月26日の認定授与式では、院長より「結核看護院内認定看護師としてリーダーシップをとり、後輩の育成や院外での看護活動など活躍を期待している。」との言葉をいただきました。これで、結核看護院内認定看護師は合計5名となり、1つのチームとして院内外に活躍の場をさらに広げていく予定です。結核看護についての講義や研修会開催の要望などがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

ふれあいイベントのお知らせ

毎年5月12日の看護の日を含む5月11日（日）から17日（土）までを看護週間とし、全国各地で看護にふれていただくイベントが開催されます。七尾病院でも、5月13日（火）どんたく「ベイモール店」前にて、地域のみなさまを対象に健康チェックや健康・栄養相談を行い、みなさまの健康作りをお手伝いさせていただきます。多数の方のご来場をお待ちしております。

能登里山里海定食

栄養管理室長 浅井 慎 悟

入院患者さんにとって病院食は治療の一環でもあり、また入院生活における唯一の楽しみでもあります。このような事を踏まえ、当栄養管理室は治療食でも、美味しくいただける食事の提供を模索してきました。そこでこの度、我々が追及する減塩食への取り組みの一つとして、国立循環器病研究センターが主催する全国減塩食レシピコンテスト「S-1（エスワングランプリ）：定食部門」に応募しました。そして応募総数355作品の中、ベスト20作品候補にエントリーされましたので、ここにご紹介いたします。

今大会の趣旨としまして『①循環器病予防のための食生活改善に地域ぐるみで取り組む動きを支援する②地産地消・地域振興にも貢献し、各地の特産品を活用した美味しい減塩食を発掘・応援する』というものです。

この応募については広報があった直後に、数々の割烹料理店で修業を積んできた、当栄養管理室の江口副調理師長が名乗りを上げ、すぐに調理のベースとなる、当院オリジナルの八方だしの開発に着手しました。人が好む塩分濃度は汁物0.7～1.0%、煮物では0.8～2.0%とされており、だしと調味料のバランスを考慮しその旨みを最大限に引き出す工夫をしました。その結果、塩分濃度を0.6～0.8%まで落としても美味しく使える当院オリジナルの濃口八方だし、酒八方だし、塩八方だしを開発しました。

今回の応募レシピのタイトルは大会の趣旨を意識し「能登里山里海定食」と決めました。そのセールスポイントとして、すべての食材はユネスコ世界農業遺産にも登録された石川県能登地区のものを使用。一汁三菜の献立には、その新鮮な素材そのものの味を生かしつつ、地場調味料「いしり」やこの度開発したオリジナル八方だしを用いました。

献立内容は

- ・主食(食事)：いしりご飯
- ・主菜(焼物)：能登牡蠣中島菜のピカタ
- ・副菜(酢の物)：能登馬鈴薯ところ柿の梨もどき
- ・副菜(炊合せ)：鰯大根二種
- ・汁物(椀物)：鱈白子蓮蒸葛仕立て

一人分の栄養成分としてエネルギー 556Kcal
・塩分1.87g として厚生労働省が制定した日本人の食事摂取基準および日本高血圧学会の減塩食に準拠した構成となっております。

今回の取り組みを契機に、調理現場より治療食であっても美味しく食せる調味料や献立の提案・開発が更に活発となりました。そして当院外来において『七尾病院・能登里山里海給食レシピ』と題して簡単献立レシピ集を無料配布させていただくこととなりました。また地域住民の方へ調理実習を含む、無料の出前講座も積極的に行っています。

ご興味のある方は当院までご一報いただければ幸いです。



結核臨床研修会報告

地域連携室長 横地 英博

2月23日（日）に公立能登総合病院において当院主催の結核臨床研修会を開きました。結核臨床研修会は結核医療における地域の医療機関相互の連携強化を図り、結核医療の向上に努めることを目的としており、平成13年度から年1回石川県の各地で開催しています。今回は能登中部地区の医療従事者と介護福祉関係者の方々を対象とし、能登中部保健福祉センター、七尾市医師会、羽咋郡市医師会、石川県薬剤師会、石川県診療放射線技師会、石川県臨床衛生検査技師会、石川県理学療法士会、石川県作業療法士会の共催、石川県看護協会、公立能登総合病院の後援をいただきました。当日は晴天にめぐまれ、76名の方の参加がありました。

演題は5題あり、第1演題は能登中部保健福祉センター所長 南 陸男先生から「能登中部保健所管内の結核患者の発生状況について」と題して講演がありました。平成24年結核登録状況では能登中部の罹患率は人口10万対15.1人で全国平均を下回り、漸減傾向であること、新登録中、65歳以上割合と外国出生者割合は全国平均を上回っていること、患者発見の遅れは全国的にみても少なく早期発見がなされていることを述べられました。第2演題は当院の堂下隆内科医長から「結核診断のポイントについて」と題して結核菌、結核感染と発病、結核菌関連検査の基礎的知識から具体的事例にもとづく結核診断のこつの提示がありました。第3演題では土島秀次外科医長から「結核症例の実際について」という題で5例の症例提示がありました。第4演題「良質な喀痰の採取法とその評価について」では多和田行男臨床検査技師長から上手な痰の採取方法と喀痰の品質評価の重要性について説明がありました。第5演題「結核発症時の施設内対応と看護について」では中川かつ枝結核看護院内認定看護師から結核発症時の施設内対応、感染防止対策、結核看護、結核治療、DOTSカンファランスと退院後の対応にいたる流れの具体的説明がありました。最後に参加者全員にN95マスクを配り、正しい装着法とフィットテストを体験してもらいました。

研修終了後のアンケートを一部ご紹介いたします。「発症から看護まで順序立った講演でよかった」、「多くの症例の画像をみることができた」などです。ご意見を参考に今後も結核拠点病院として情報を発信していきたいと思っております。



看護師募集!

入院から在宅までの
看護を一緒に行いましょう!

*しばらく医療の現場から
離れていた方への職場復
帰を支援するための研修
を行っています。ご利用
下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課
(0767) 53-1890 (内線1104)



外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:00

	月	火	水	木	金
内科	横地	橋井	陳	藤村 森永	堂下
外科				土島	
呼吸器科	藤村 (PM)	藤村 (PM)	大谷 (PM)	藤村 (AM)	堂下
ペインクリニック			松島 (AM)		
神経内科	横地	横地	横地	森永	森永
小児科	交代制 (AM)		岡田 (AM) 松島 (PM)		松島
消化器科	陳	陳	陳	陳	陳
皮膚科	岩永 (AM)	藤村啓	藤村啓 (AM)		牛上 (AM)
循環器科					上野 (AM)

※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

病院概要

■医療法病床 240床
(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、
ペインクリニック内科、外科、小児科、皮膚科、
リハビリテーション科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

七尾病院には有志による野球部があり、事務やりハビリから参加者が集っています。春となり当院野球部もようやく重い腰を上げました。今年の目標は試合で勝つことです。

医療社会事業専門員 上田 竜也